

## 親切運動の取り組み

富山県立雄峰高等学校 家庭クラブ  
昼間単位制 339名（生活文化科 48名）

### 1. 親切運動の取組の紹介

家庭クラブでは昨年度に引き続き「防災」をテーマに学習活動に取り組んできました。折しも令和6年1月1日の能登半島地震を経験し、生徒たちの防災への意識は高まりつつあります。今回の地震では雄峰高校が避難所として利用され、ますます災害時に学校が地域に果たす役割を考えさせられました。

今年度も、家庭クラブという小さな集団から、学校全体、地域へと防災意識を広げ、学校と地域が一体となって防災力を向上させること目指し、活動を行いました。

### 2. 活動の紹介

#### (1) 校内災害時便利マップの作成



雄峰高校が実際に避難所として活用されたことを受けて、災害時に避難者の役に立つものが学校のどこにどのくらいあるか皆で探して、災害時便利マップとしてまとめました。家庭クラブとして災害時の備蓄ができないかという見方もでき、今後の検討課題です。

#### (2) 避難所開設訓練



愛宕地区センターに依頼して避難所開設訓練に協力させていただきました。どこにどのようなものがどれくらい備えられているか、初めて知ることばかりでした。グラウンドの倉庫から備品を運び出し、災害時のスペースの仕切りや簡易テントの設置などを実践し、とても良い経験になりました。猛暑の時期に重い備品の運搬には高校生のような若い力が必要で、多くの生徒に体験して欲しいと思いました。これからも継続していきたい取り組みです。



#### (3) 家庭クラブ学習会「松村先生が体験した能登半島地震」



能登半島地震を輪島高校で体験した本校の教員から、その体験談を聞きました。被害の大きさを物語る写真や動画に胸が痛む場面もありましたが、被災後の学校や高校生の様子、避難所での生活のことなど貴重な話を、生徒たちは真剣な眼差しで聞き入っていました。災害にあっても「不運」を「不幸」としないで生きていく人々の強さにも感動しました。

### 3. 親切運動に取り組んで

校内マップを作成したり、避難所開設訓練に協力したり、今年度はより実践的な活動ができ、防災への学びを深めることができました。2年計画で取り組んできたテーマ「防災」での活動は今年度で一区切りですが、今後も地域との交流を大切に、防災への取り組みを継続していきたいと思っております。